

七六參  
♥

# カ摩 詞般若 ナルバ



南無妙法東方數寄本

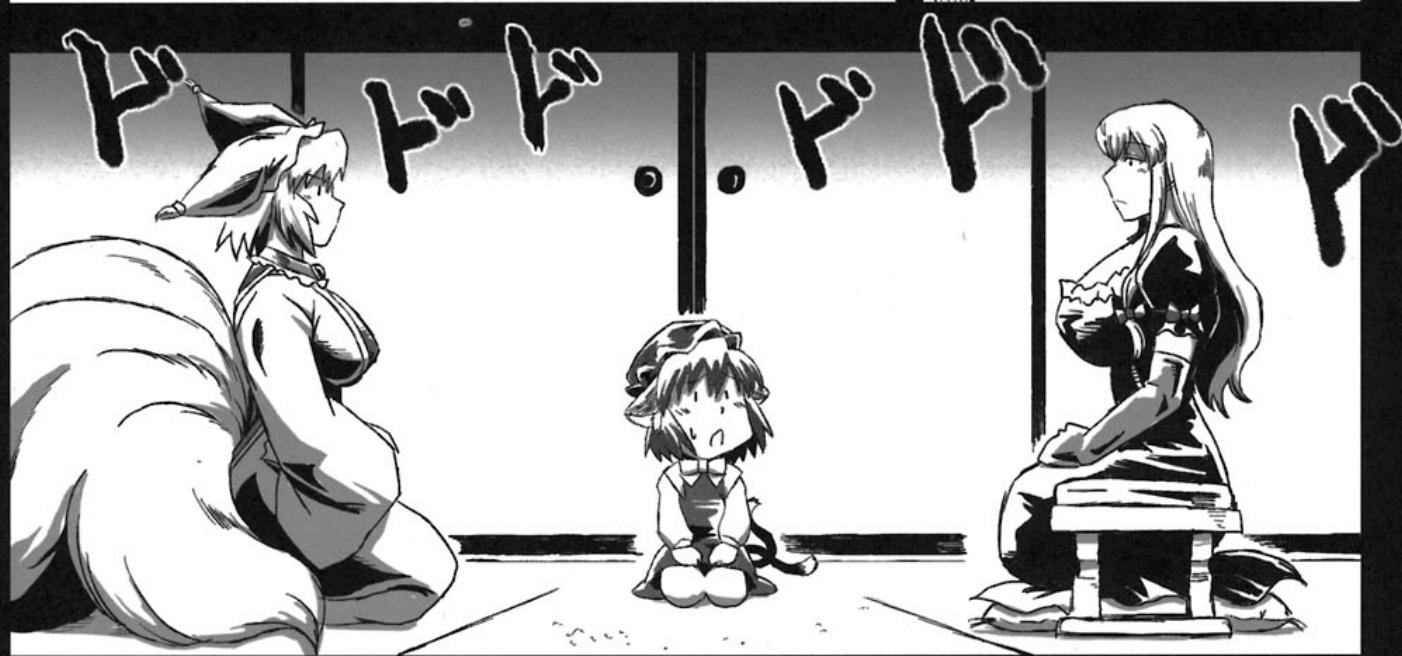
小豆櫛





# 摩訶般若カルナバル

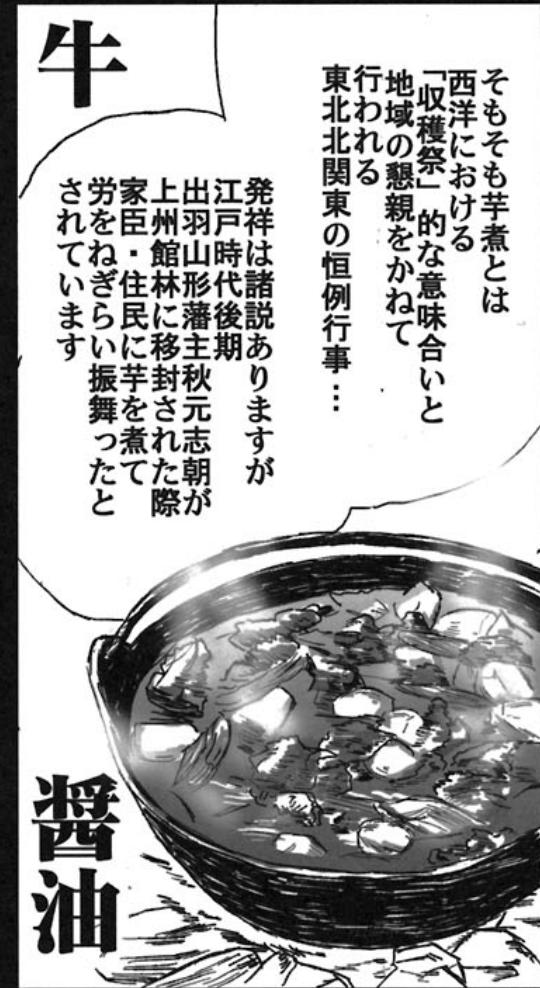


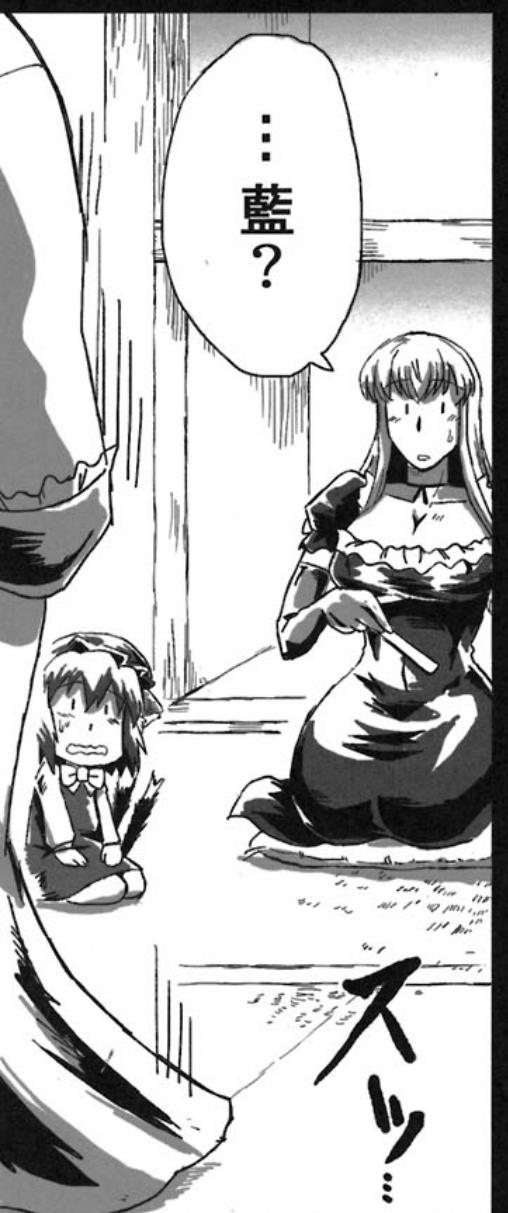
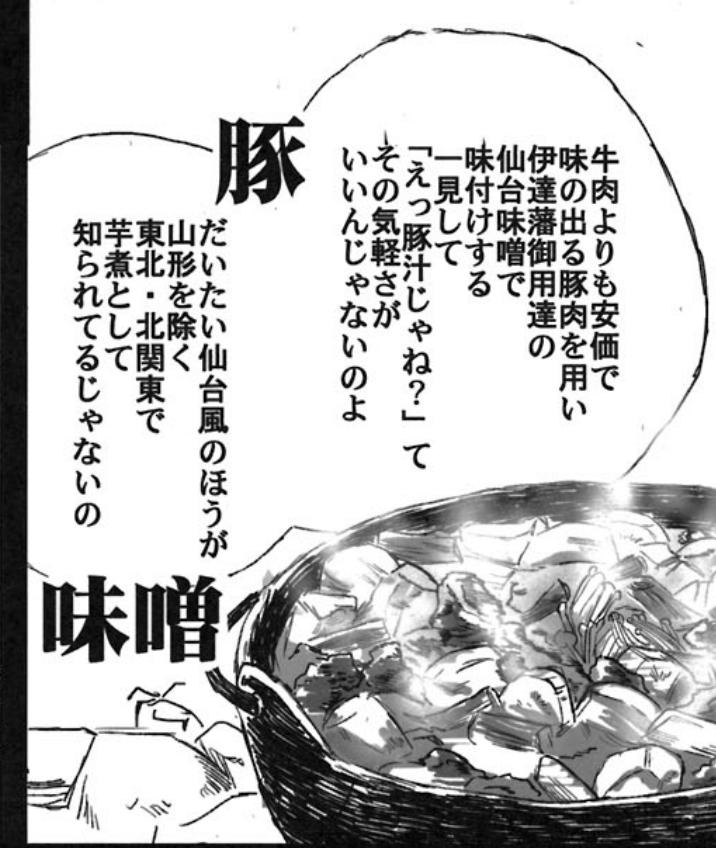
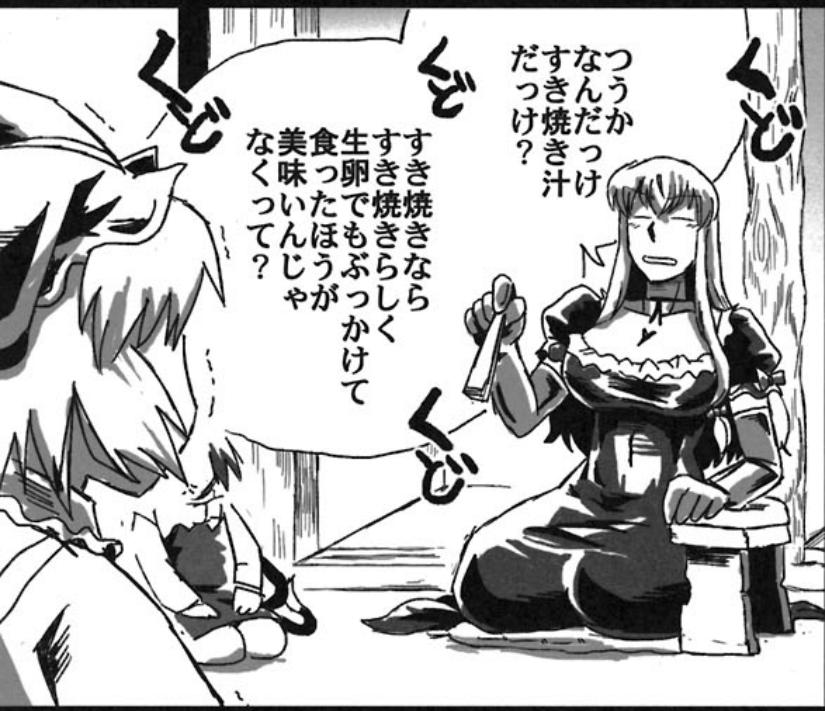


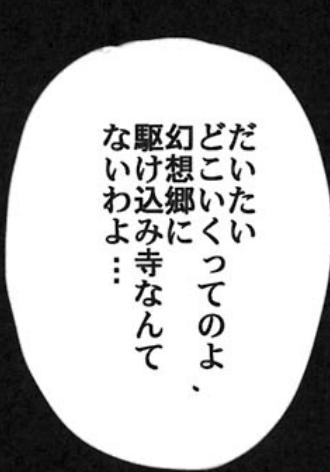
ですから

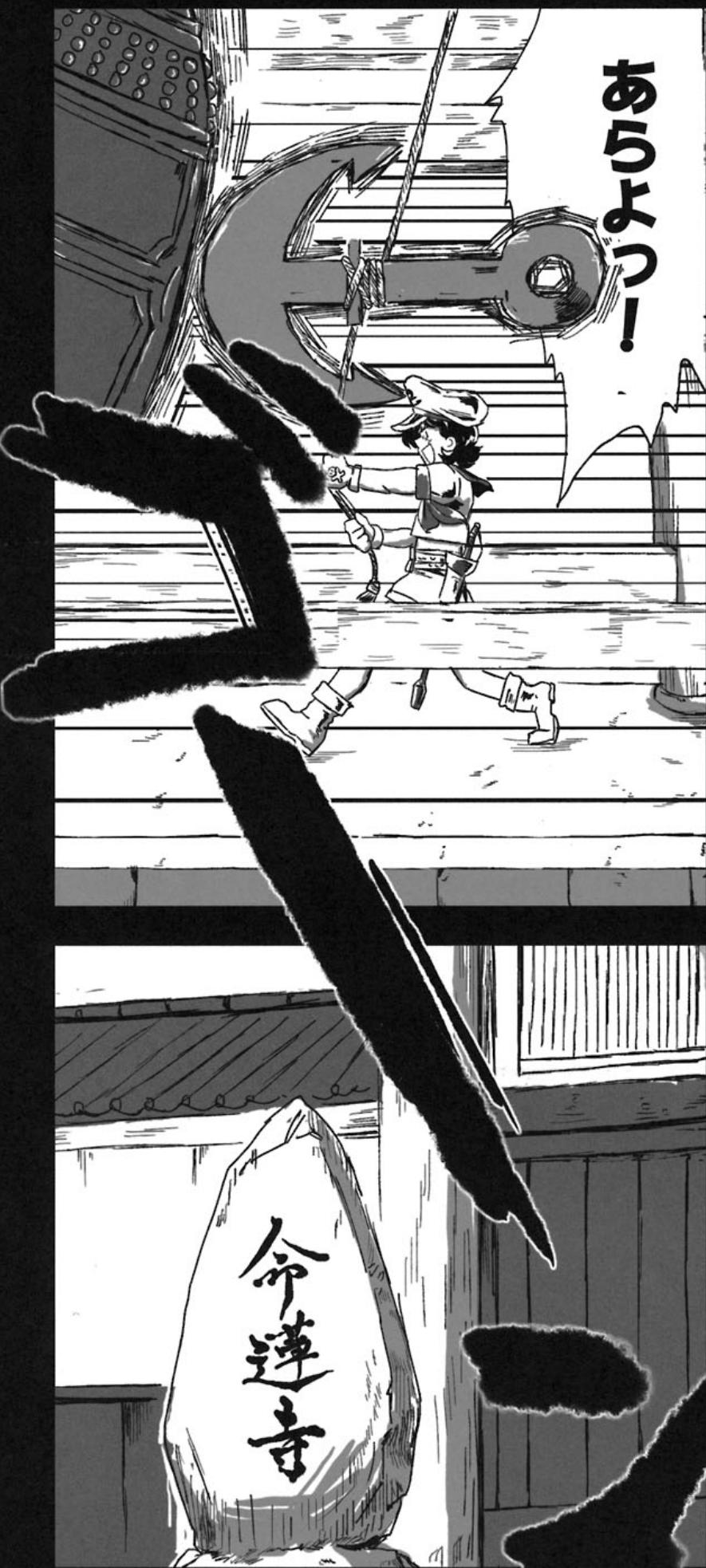
秋になると  
毎年何度も  
申し上げてる

参出牛芋わ  
羽肉煮が八雲家の  
いい山・鍋は  
形醤油で味の  
でするじや  
ない



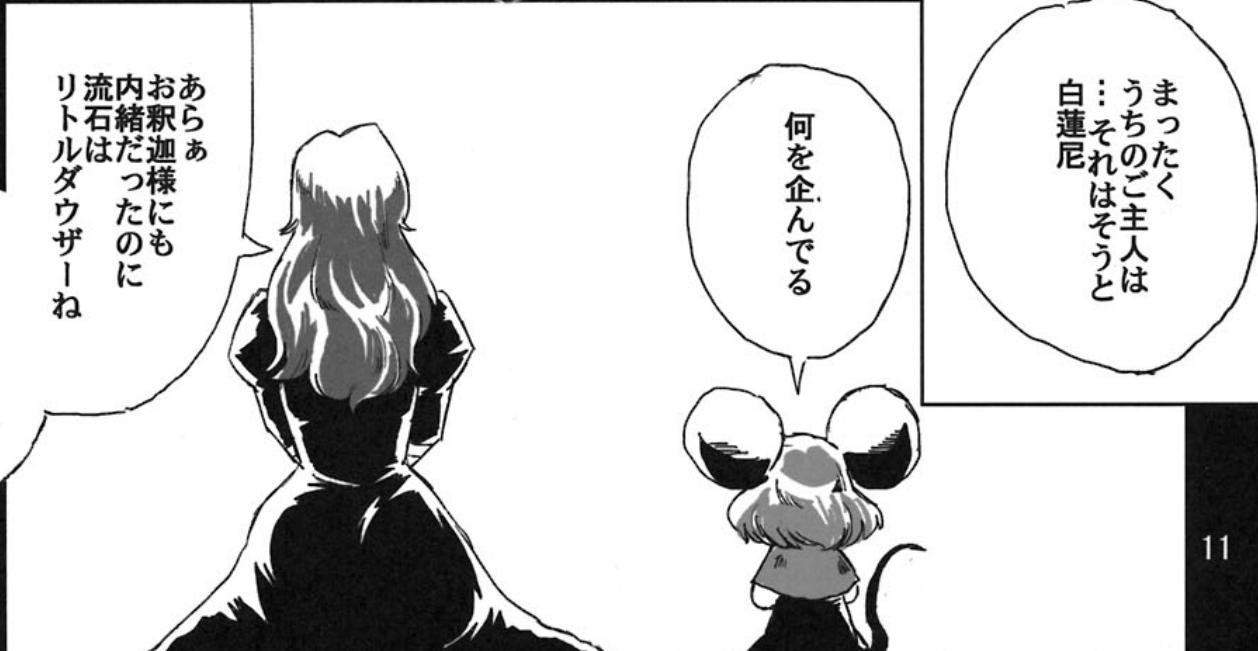


















サトイモ！  
さすは  
房ざざ  
いざ進めや  
厨くい



お待たせ  
朝いたしました  
餉になりました



さあ  
あれが  
命蓮寺  
ですよ









モー

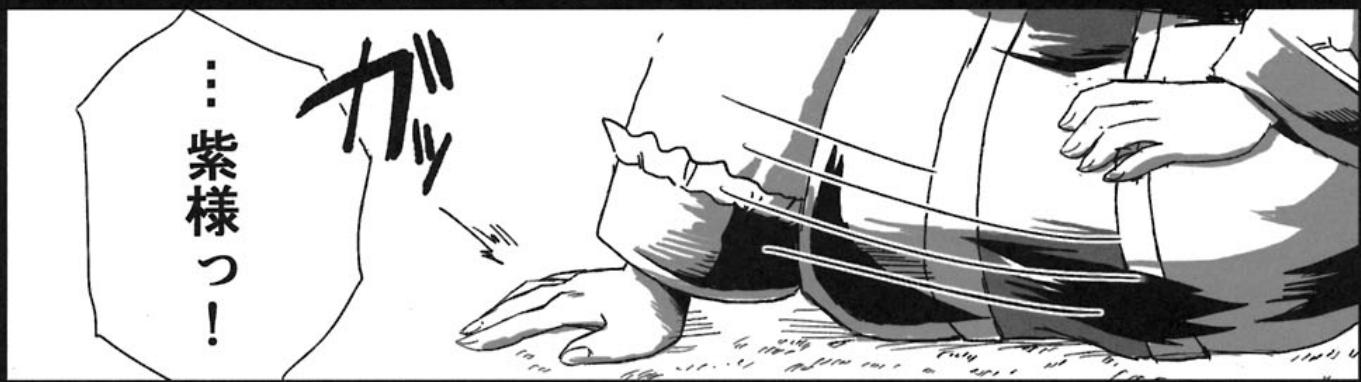
作い来聖つて見たりはられて  
さ

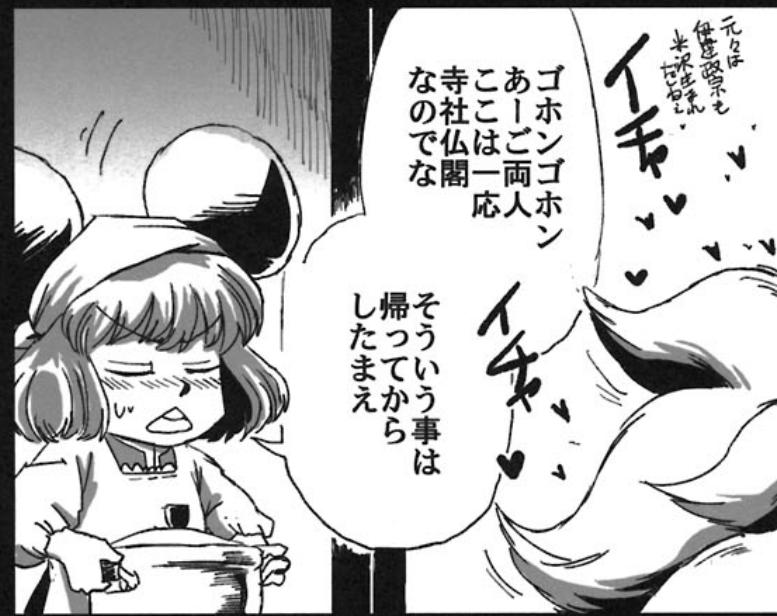
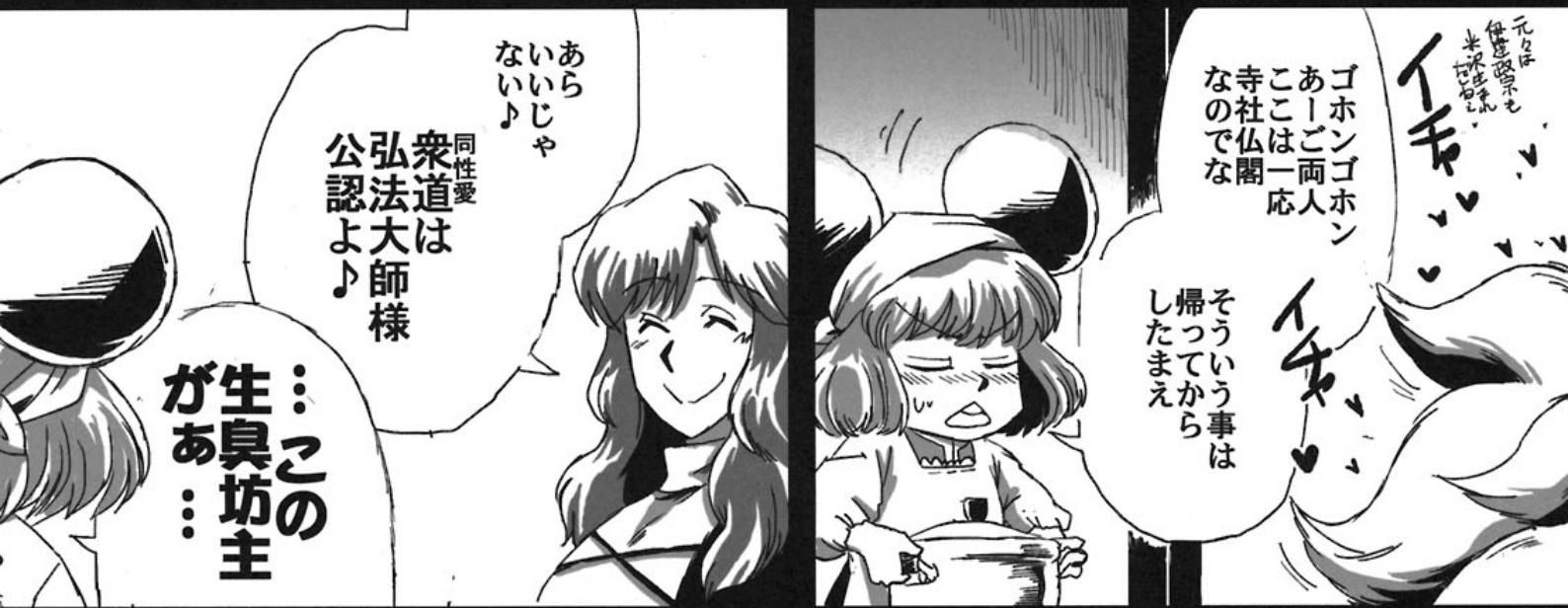
以来包丁握つたの  
以来だわ



カリ  
おおつまり!

紫様:  
かわいい...





この夢がずっとずっと つづいてほしい  
わたしの恋は 輝いているわ

ともに過ごしあのとき 胸にたぐりよせて  
歌いましょう さあ歌を あなたの 思い出の歌

はじめまして or こにやにやちわ  
コンビニの店頭に薪が並ぶとああ秋だなあと思う（南東北限定）程度の  
杜王町民の小豆長光です  
ということで前作「秋味」につづく（？）  
震災復興祈念秋の旬第二弾”芋煮”です  
全国的ではないイベントですが、東北北関東の秋には欠かせない  
大事な収穫祭のようなものなんです  
作中でも触れましたが芋煮鍋には大きくふた  
豚肉に味噌味の仙台風、牛肉に醤油味の山形風とあって  
この季節になると奥羽山脈を挟んで長年絶えず論争が繰り広げられてるわけです  
あたしは仙台と山形のハーフなので  
ぶっちゃけどっちも交互に頂いてるわけですが  
まあ・・・6：4で仙台風が好きですかね  
あと命蓮寺風は命蓮寺の元ネタが奈良生駒の信貴山朝護孫子寺なので  
奈良京都の宿坊精進料理を参考にしてみました  
ちなみにタイトルはお酒を般若湯と誤魔化して言うノリですハイ  
さてそれでは宴もたけなわプリンスホテル  
またおあいしましょう

それぞれの 出会いは 奇跡のようです  
ほんの すこし目を閉じれば  
永久の夢 やさしく 歌となり こころゆらす  
思い出に よりそうふたり

歌を さあ歌いましょ それが夢のつづき  
高らかに愛を 歌う喜び  
歌を さあ歌いましょ それが夢のつづき  
巡りあい 信じあい 明日を歌おう

歌を さあ歌いましょ それが夢のつづき  
高らかに愛を 歌う喜び  
歌を さあ歌いましょ それが夢のつづき  
立ち上がり 肩を抱き 明日を歌お

摩訶般若カルナバル  
平成廿參年芋煮建亥十六日

原作 ZUN/ 上海アリス幻樂団  
東方Projectシリーズより  
詠人 小豆長光  
発行 小豆粥  
<http://azukiosamitu.blog100.fc2.com/>  
印刷 トム出版  
<http://www.tomshuppan.co.jp/>  
挿入歌 帝国歌劇団「夢のつづき」

